

日本スピリチュアルケア学会  
 人材養成プログラム認定  
 1. 基礎データ

(必要な場合は、記入欄の行数、ページ数を増やしてご記入下さい)

申請年度： 2021年度

組織名(和文) *必須	臨床パストラル教育研究センター
組織名(英文) *任意	The Clinical Pastoral Education & Research Center
代表者氏名	大山 悟
事務担当者氏名	盛 克志
組織所在地	神奈川県鎌倉市由比ガ浜 4 丁目4 番 36 山下方 E-mail: <a href="mailto:pastoral1998@nifty.com">pastoral1998@nifty.com</a>
設立年	1998 年
沿革	<p>1998 年 1 月 日本でそれまでに臨床パストラルケアに携わって来たカトリック系の病院や施設が中心となり、その他の賛同者や協力者を得て臨床パストラルケア教育</p> <p>2007 年 8 月 当センターは東京都から特定非営利活動法人として認証された。</p> <p>2010 年 6 月 当法人の認証が「特定非営利活動法人臨床パストラル教育研究センター」が設立された。</p> <p>2020年12月 任意団体「臨床パストラル教育研究センター」に変更された。</p>
組織の目的、ミッション・ステートメント 等	<p>当団体は患者などスピリチュアルケアを必要としている人々に、スピリチュアルケアの提供を保障する日本の社会の実現を目指す。この目的のため以下のことを使命とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*キリスト教哲学に基づき、同時に諸宗教、異なる信条・信念を尊重してスピリチュアルケアに携わることのできる人材の養成。</li> <li>*病者がスピリチュアルケアを受ける権利を有することを主張し、スピリチュアルケアの実践と普及活動。</li> <li>*病者への全人的ケアの一環として、スピリチュアル・ケアワーカーを医師、看護師、臨床心理士等と並ぶ専門家として養成。</li> <li>*スピリチュアルケアに携わる他のグループや団体と協調した活動。</li> </ul>

## 2. 教育担当者一覧

(必要な場合は、記入欄の行数、ページ数を増やしてご記入下さい)

### 1) グループワーク、スーパーヴィジョン、演習 等担当者

2012年以前就任の者を、日本スピリチュアルケア学会スピリチュアルケア師(指導)[暫定期間は2024年3月31日まで]候補として推薦する。

	氏名 NAME	就任年 性別(年齢)	主担当科目(2科目まで)
1	ウォルデマール・キッペス Waldemar Kippes	1998年	会話記録 ロールプレイ
2	大山 悟 Oyama Satoru	2021年	会話記録 ロールプレイ
3	盛 克志 Mori Katushi	2007年	会話記録 ロールプレイ
4	石田了久 Ishida Akihisa	2021年	会話記録 ロールプレイ
5	山下清美 Kiyomi Yamashita	2017年	会話記録 ロールプレイ
6	加藤理人 Katou Rijinn	2019年	ロールプレイ
7	木澤 寛子 Kizawa Hiroko	2005年	会話記録
8	泉 キリ江 Izumi Kirie	2011年	会話記録

## 2) 講義科目等 担当者

講義科目担当のみの者は、日本スピリチュアルケア学会スピリチュアルケア師(指導)への推薦は行わない。

(必要な場合は、記入欄の行数、ページ数を増やしてご記入下さい)

	氏名 NAME	就任年 性別(年齢)	主担当科目(2科目まで)
1	ウアルデマール・キッペス Waldemar Kippes	1998年	科目 VIII
2	大山 悟 Oyama Satoru	2021年	科目 哲学・神学
3	盛 克志 Mori Katushi	2007年	科目 IV
4	石田了久 Ishida Akihisa	2021年	科目 I・科目 III
5	山下清美 Kiyomi Yamashita	2017年	科目 II
6	安田裕子 Yasuda Yuuko	2021年	1日研修会
7	加藤理人 Katou Rijin	2019年	1日研修会
8	深谷美枝 Fuky Mie	2021年	思想・伝統・文化
9	打本弘祐 Uchimoto Kouyu	2021年	思想・伝統・文化
10	鈴木育三 Suzuki Ikuzou	2007年	1日研修会
11	小栗洋慶 Oguri Youkei	2021年	思想・伝統・文化

### 3. 人材養成教育領域 充当表

- 1 貴組織提供の人材養成科目を、「専門資格認定方針」付表1. の教育領域別に記入して下さい。
- 2 一つの科目が複数の教育領域内容を含む場合は、該当する領域全てに科目名を記入し、時間数を領域ごとに分割して記入して下さい。
- 3 別添書類として、貴組織提供の人材養成プログラム教育課程表(カリキュラム:書式自由)を提出して下さい。

時間	科目名	他団体から借入科目の場合は提供団体
<b>&lt;基礎領域&gt;</b>		
思想・宗教・伝統・文化 36 時間	日本を中心としつつ、広く人類の思想・宗教・伝統・文化に関する基礎的な知識を持つと同時に、その中におけるケア提供者自身を基盤づけているスピリチュアリティの位置づけと特徴についての深い理解に繋がる教育。特に、ケアの基礎となる、共同体と個人との関係について、その変遷や潜在的な可能性への洞察力を養う教育。	
60時間	哲学・神学講座における哲学、宗教学並びに関連領域の講義 科目Iが主体だが、科目II、VI、VII及びVIIIの一部を含む ブックレポートの作成による、思想・文化等関連領域に関する知識の習得と洞察力の指導	
心理・力動・援助 36 時間	個人の成長に関わる個人因子と環境因子への理解、対人関係における社会学的心理学的メカニズムの理解、援助関係における「権力」構造の理解のための教育。社会構築、言語と解釈、非指示的療法、傾聴、パターンリズム、自立・自律、投影、転移・逆転移等の基本概念の教育。	
40時間	哲学・神学講座:個人の成長に関わる諸因子の理解に関する講義 科目I及び科目IIが主体だが、科目VI及びVIIの一部を含む ブックレポート作成による、心理学、ケア学並びに関連領域の習得と洞察力の指導	
<b>&lt;専門領域 A&gt;</b>		
スピリチュアリティ論 24 時間	思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に基づく、スピリチュアリティの体系的教育	
30時間	科目III「スピリット」と「スピリチュアル」 科目IV「スピリチュアルな痛み」 科目VII「神学的・宗教的人間論」の一部	
スピリチュアルケア論 24 時間	援助者・対象者間のスピリチュアリティの力動に基づく、ケアの体系的教育	
30時間	科目V「スピリチュアルケア」 科目VI、VIIおよびVIIIの一部	

〈専門領域 B〉	
グループワーク 臨床スーパービジョン 60/120 時間	心理およびスピリチュアリティの次元でおこる、自己および他者の内的力動と対人的力動を体験的に理解し、効果的にケアを提供できる能力を養う教育 スピリチュアルニーズを理解しケアする臨床力を、個人スーパービジョンならびにグループスーパービジョンをとおして育成する教育
60/ 120時間	グループワーク 科目IIIからVIIIまでの受講毎にグループ討議で個人個人を peer スーパービジョン。「人生の分かち合い」スーパーバイザーやグループメンバーと人生(成長過程)での体験を分かち合う。
臨床実習 120/240 時間	スピリチュアルケアが求められる医療・福祉・教育・産業その他の、臨床現場におけるチームケアに参加する。
120/ 240時間	科目III、IV、V、VI、VIIおよびVIIIの受講中に患者訪問し会話記録を作成する。各科目以外に、自主的に病院等の施設で 16 回患者訪問をし、会話記録を作成する。
〈専門領域 C〉 ※参考記載	
スピリチュリティの涵養	援助者各自のスピリチュアリティを育成する教育
24時間	センターの年次全国大会に参加し、スピリチュアリティ並びにスピリチュアルケアに関する講演を聴講するとともに、ケアワーカーとの討議により各自のスピリチュアリティを育成する。一日研修会に参加してスピリチュアリティの涵養に努める。
継続教育	臨床活動を行う援助者を継続的にサポートし専門性を維持するための教育
12時間	毎年提出された会話記録に対して少なくとも年 2 回スーパービジョンを実施。